

## 2 授業改善の方向性

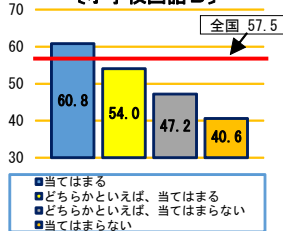
### ① 見通しと振り返り

#### 見通しと振り返りに関する取組状況

##### 児童質問紙

「目標（めあて・ねらい）が示されていたと思いますか」

##### 【小学校国語B】



※児童生徒質問紙の回答状況ごとの教科における平均正答率

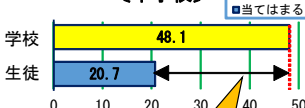
##### 学校質問紙

「生徒に対して、授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れた」

##### 生徒質問紙

「授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていた」

##### 【中学校】



※学校質問紙と生徒質問紙の対応する質問項目

「目標が示されていたと思いますか」という質問に対し、「当てはまる」と回答した児童の教科の平均正答率は、全国平均を上回っていますが、それ以外の回答をした児童は全国平均を下回っています。また、振り返る活動については、「よく行った」と回答した中学校と「当てはまる」と回答した生徒の割合の差が27.4ポイントあります。

このことから、子どもたちが目標（めあて・ねらい）を意識できるよう提示方法を工夫するとともに見通しをもって学習したり、身に付けたことを振り返ったりする活動を充実させるなど、授業改善を図ることが大切です。

#### 授業の冒頭で目標（ねらい・めあて）を示す〔国語〕

##### 【国語科の授業でみられる課題】

- ねらいや身に付けさせたい力などが曖昧な学習活動が展開されている。
- 本時の最後に何ができるよといのか、子どもが見通しをもたないまま学習している。

単元や1単位時間の冒頭で、子どもに見通しをもたせ、主体的な学習活動を展開できるように、目標を達成するための「学習課題」を工夫しましょう。

##### 目標達成に向けた学習課題の工夫

##### 【学習課題を明確にするために】

- 指導事項や身に付けさせたい力を踏まえた学習課題
- 言語意識（相手・目的・場面・方法・評価）を高める学習課題

授業改善のポイント

（例）小学校第3学年における文学的な文章の指導

【ありがちな課題】 ▲登場人物の気持ちを考えよう。

##### 課題の改善

##### 【単元の課題例】

「お薦めの本発表会」で、2年生に好きな登場人物を紹介しよう。

##### 【1単位時間の課題例（一部）】

- 「モチモチの木」を読み、好きな豆太の行動や会話を調べ、その理由をまとめよう。
- 自分が選んだ豆太の行動や会話が好きな理由をはっきりさせて、友達に紹介しよう。
- 2年生が面白そうと感じるように、伝え方を工夫して、好きな本の登場人物のことを紹介しよう。

##### 見通しをもたせる工夫

- ・ 単元全体の流れを子どもがイメージできるようにする。
- ・ 考え方や活動の手順、方法、形態、時間やゴールなどの見通しをもたせるようにする。

（例）ブックトークのモデルを示し、好きな場面の選び方、紹介の仕方を学ぶ場を設ける。

#### 授業の最後に振り返る活動を位置付ける〔算数・数学〕

##### 【算数・数学科の授業でみられる課題】

- 子どもの活動や教師の説明に時間がかかり、定着を図る問題が行われない。
- 理解の早い一部の子どもを中心に授業が進められ、理解や定着が不十分なままの子どもがいる。

授業の振り返りの場面で、学習したことを適用して解決する問題に取り組ませ、すべての子どもに学習内容を確実に身に付ける授業を展開しましょう。

##### 振り返りの場面における問題の設定

- 振り返りの場面で、評価の観点に即した問題を位置付ける。
- 問題に取り組む時間を確保する。

授業改善のポイント

評価の観点によって、位置付ける問題を変える。

##### 「数学的な（見方や）考え方」

- ・ 考え方を説明する問題など
- 「数量や図形についての技能（数学的な技能）」
- ・ 計算する問題や作図する問題など
- 「数量や図形（など）についての知識・理解」
- ・ 意味を書く問題、正しいものを選ぶ問題など

必ず、授業の振り返りの場面で、問題に取り組ませる時間を確保できるよう、「導入」、「展開」、「終末」の時間配分を考える。

##### 定着を一層確かにする工夫

- ・ 振り返りの場面では、「複数の考え方で問題を解く」「問題を解いた後に解き方や考え方を説明し合う」などの活動を設定する。
- ・ 振り返る活動を通して、学習内容の定着状況や一人一人の子どものつまづきを把握し、指導に生かす。
- ・ 授業と連動させた宿題を提示したり、家庭学習の取り組み方を指導したりする。